

# 中学校数学

## 第2学年

### 5 図形の性質と証明

#### [問題]

中学校

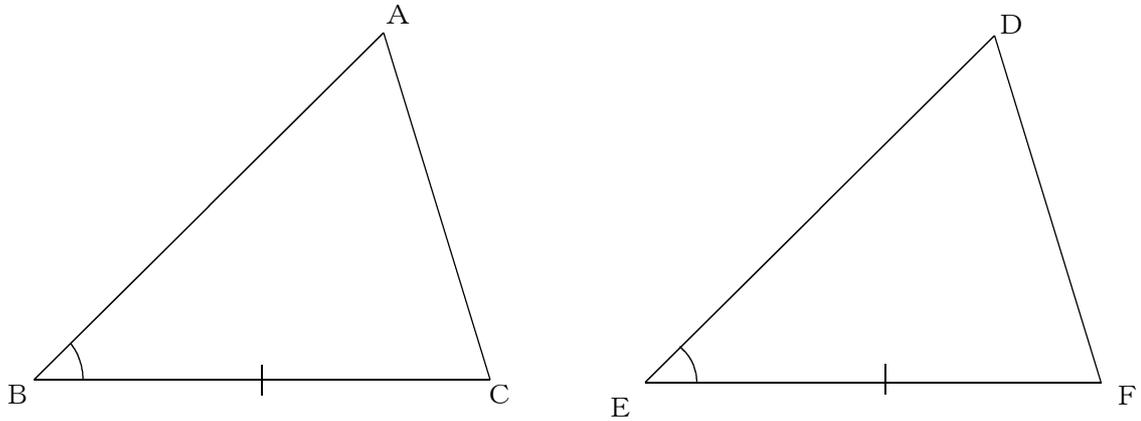
年 組 号 氏名

■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■練習問題①

次の図で、 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であることを証明しようとしています。 $BC=EF$ 、 $\angle ABC=\angle DEF$ であることは分かっています。



三角形の合同条件を用いて証明するために、あと1つどのようなことが分かればよいですか。下の  =  に分かればよいことを書きなさい。

- ・分かっていること
- $BC = EF$
- $\angle ABC = \angle DEF$
- ・分かればよいこと
-

## ■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

## ■練習問題②

次の問いに答えなさい。

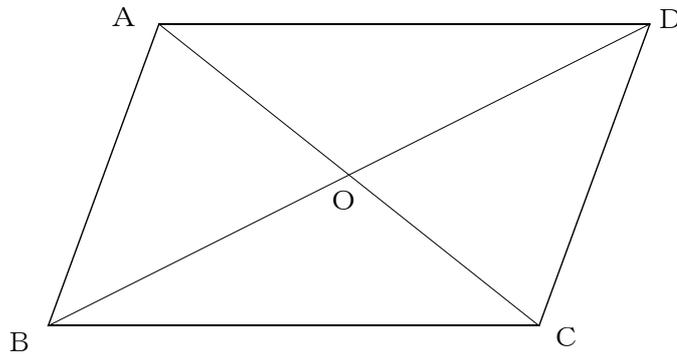
- (1) 下の四角形ABCDは、2組の向かいあう辺がそれぞれ平行であるとき、平行四辺形になります。

下線部を、下の図の四角形ABCDの辺と、記号 $\parallel$ を使って表すと、

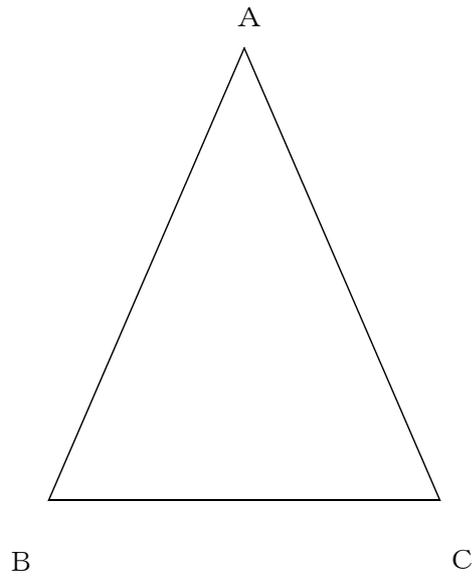
「 $AD \parallel BC, AB \parallel DC$ 」

となります。

この他にもあと4つ平行四辺形になるための条件があります。その4つの条件を記号 $\angle$ ,  $\parallel$ ,  $=$ などを使って表しなさい。ただし、点Oは四角形の対角線AC, BDの交点とします。



(2) 次の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形です。



この二等辺三角形に、『 $AB=BC$ 』（または $AC=BC$ ）という条件が付け加われば正三角形になります。これ以外に、付け加えれば $\triangle ABC$ が正三角形になる条件があります。その条件を記号で答えなさい。

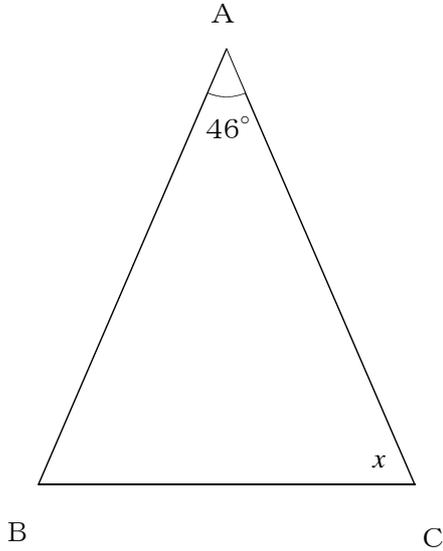
■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

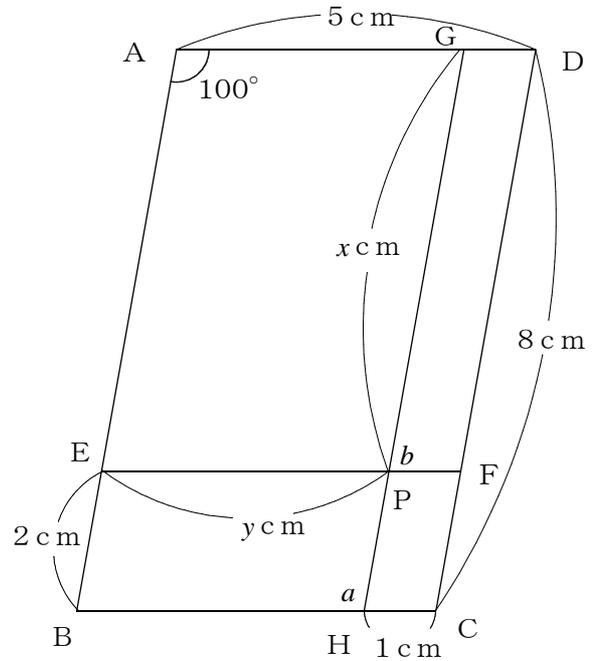
■練習問題③

次の角度や辺の長さを求めなさい。

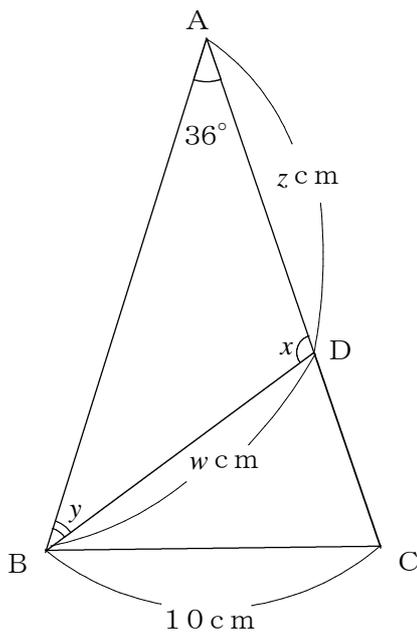
- (1)  $\triangle ABC$ が $AB=AC$ の二等辺三角形のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



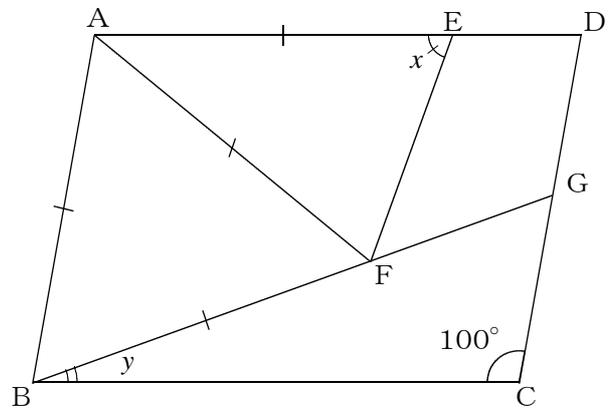
- (2) 四角形 $ABCD$ が平行四辺形で、 $AB \parallel GH$ ,  $AD \parallel EF$ のとき、 $x, y$ の値と、 $\angle a, \angle b$ の大きさをそれぞれ求めなさい。



- (3)  $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形です。 $\angle B$ の二等分線と辺 $AC$ との交点を $D$ とする。このとき、 $w, z$ の値と、 $\angle x, \angle y$ の大きさを、それぞれ求めなさい。



- (4) 四角形 $ABCD$ は $\angle C=100^\circ$ の平行四辺形で、 $\triangle ABF$ は $AB$ を1辺とする正三角形とする。辺 $AD$ 上に $AF=AE$ となる点 $E$ をとり、 $BF$ の延長と辺 $DC$ の交点を $G$ とする。このとき、 $\angle x, \angle y$ の大きさをそれぞれ求めなさい。



■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■練習問題④

「二等辺三角形の底角は等しい」ことを下のよう証明しました。あとの問いに答えなさい。

【証明】

AB=ACの二等辺三角形の、頂角の二等分線をひき、辺BCとの交点をDとする。  
 $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ で、  
 $\triangle ABC$ は二等辺三角形だから、  
 $AB = AC$  ……①  
 ADは $\angle A$ の二等分線だから、  
 $\angle BAD = \angle CAD$  ……②  
 共通な辺だから、  
 $AD = AD$  ……③  
 ①、②、③より、  
 ( ) ので、  
 $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$   
 よって、[ ] から、  
 $\angle B = \angle C$

(1) ( ) にあてはまる三角形の合同条件を答えなさい。

(2) [ ] にあてはまる言葉を答えなさい。

(3)  $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ の合同から、 $\angle B = \angle C$ 以外のことも分かります。その分かることを下のアからエの中から1つ選びなさい。

ア ADはBCを垂直に2等分する。

イ  $AB = AD$ になる。

ウ  $AB = BC = CA$ となり $\triangle ABC$ は正三角形になる。

エ  $AB = AC$ の二等辺三角形 $\triangle ABC$ でも、上の図と異なる場合は常に、 $\angle B = \angle C$ になるとは限らない。

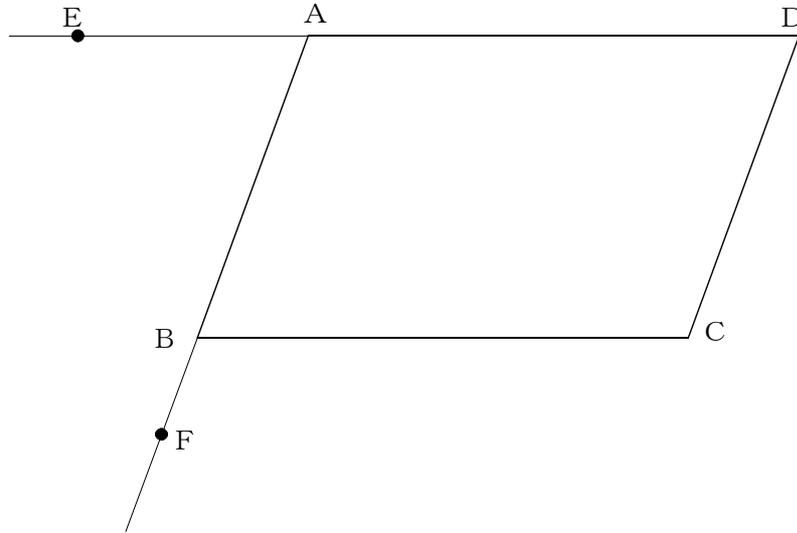
■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■練習問題⑤

「平行四辺形の向かい合う角は等しい」ということを証明しました。あとの問いに答えなさい。

【証明】



上の図の□ABCDで、辺DAの延長上に点Eをとり、辺ABの延長上に点Fをとる。  
□ABCDだから、AD//BC。よって、

$$\angle DAB = (\text{ア}) \quad \dots\dots ①$$

また、AB//DCより、

$$(\text{ア}) = \angle C \quad \dots\dots ②$$

①、②より、

$$\angle DAB = \angle C \quad \dots\dots ③$$

同様に、AD//BCより、

$$\angle ABC = (\text{イ}) \quad \dots\dots ④$$

また、AB//DCより、

$$(\text{イ}) = \angle D \quad \dots\dots ⑤$$

④、⑤より、

$$\angle ABC = \angle D \quad \dots\dots ⑥$$

よって③、⑥より、平行四辺形の向かい合う角は等しい。

(1) ( ア ), ( イ ) にあてはまる記号をかきなさい。

(2) ①, ②, ④, ⑤の根拠となることから下のアからエの中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

ア 対頂角が等しいから

イ 同位角が等しいから

ウ 錯角が等しいから

エ 三角形の内角の和は $180^\circ$  だから

(3) 平行四辺形の性質は、上で証明したことの他にもまだいくつかあります。平行四辺形の性質として正しいものを下のアからオの中から1つ選びなさい。

ア  $\angle A = \angle B$ ,  $\angle C = \angle D$ である。

イ  $\angle A + \angle B = 180^\circ$ ,  $\angle C + \angle D = 180^\circ$  である。

ウ 対角線が垂直に交わっている。

エ 対角線の長さが等しい。

オ  $AB = BC$ ,  $AD = DC$ である。

■知識・技能の習得を図る問題

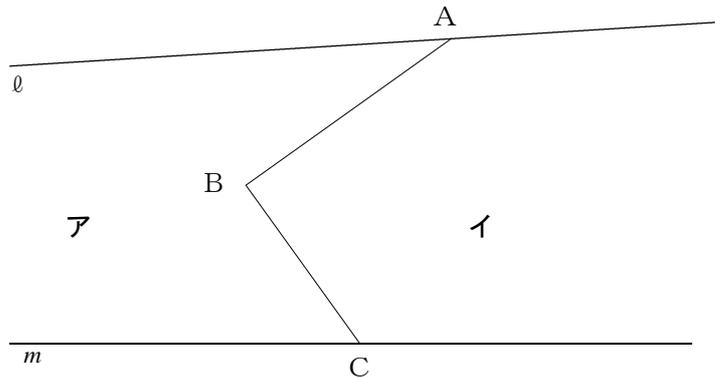
年 組 号 氏名

■練習問題⑥

次の問いに答えなさい。

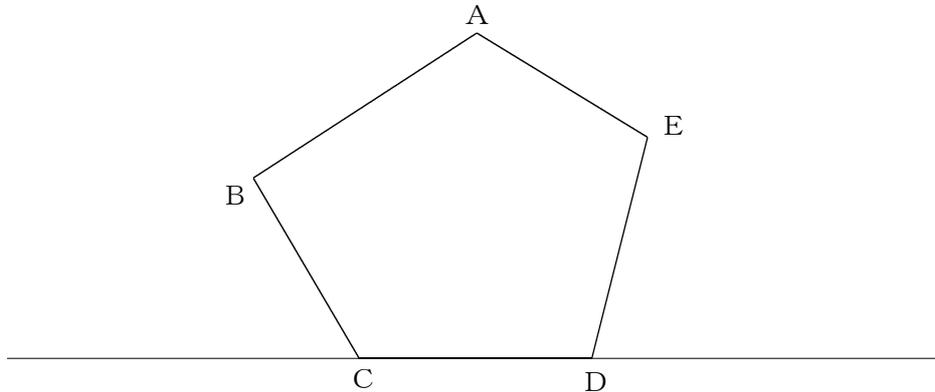
- (1) 下の図のように、直線  $l$  と  $m$  の間にあり、折れ線ABCを境界とする2つの土地ア、イがあります。それぞれの土地の面積を変えないで、境界を点Cを通る線分CDに改めるとき、点Dの位置を作図により求めなさい。

ただし、点Dは直線  $l$  上にあるものとします。



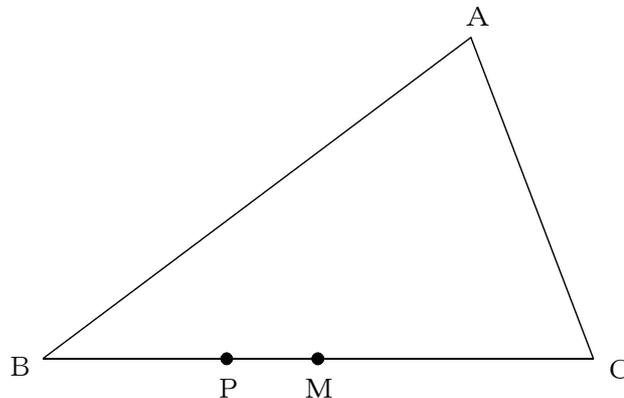
- (2) 次の五角形ABCDEと同じ面積の三角形AFGを作図しなさい。

ただし、点F, Gは直線CD上にあるものとします。



- (3) 次の三角形ABCで、点Pを通り、三角形ABCの面積を2等分する直線をかきなさい。

ただし、点Mは、BCの中点とします。

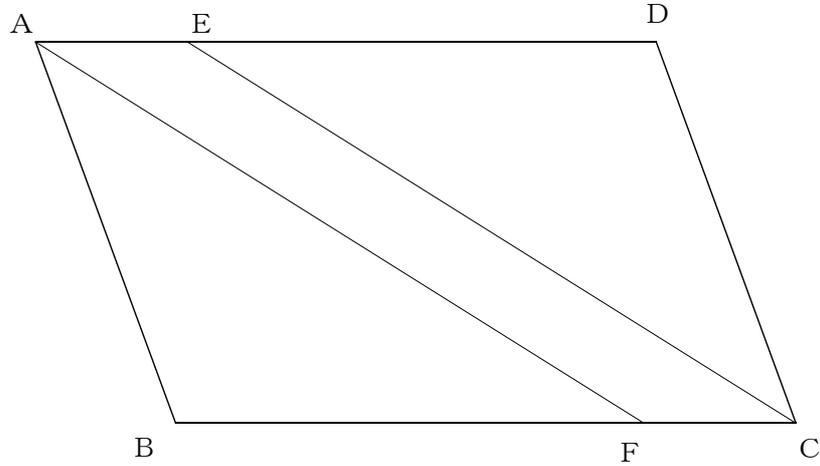


## ■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

## ■練習問題⑦

下の図のように、平行四辺形ABCDの辺AD, BC上に、 $AE=CF$ となる点E, Fをそれぞれとります。このときできる四角形AFCEが平行四辺形なることを証明しました。あとの問いに答えなさい。



## 【証明】

四角形AFCEで、  
四角形ABCDが平行四辺形であることより、向かい合う辺はそれぞれ  
平行なので、

(     ア     ) ……①

仮定から、

(     イ     ) ……②

①, ②から、

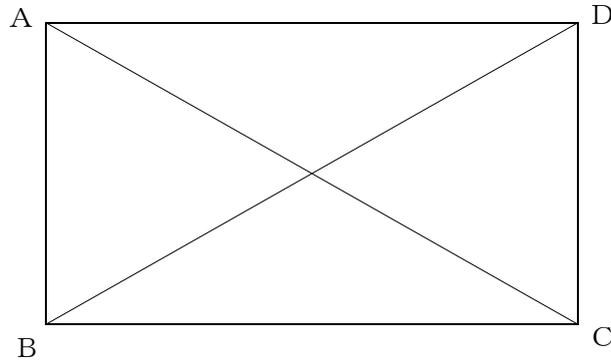
(     ウ     ) から

四角形AFCEは平行四辺形になる。

上の証明の中で、ア, イにはあてはまる式を、ウには平行四辺形になるための条件を答えなさい。

## ■練習問題⑧

下の図の四角形ABCDで、卓也さんと紳太郎さんが証明を考えています。あとの問いに答えなさい。



卓也さんは、次のように、「四角形ABCDが長方形ならば $AC=BD$ である」ことを証明しました。

## 【証明】

$\triangle ABC$ と $\triangle DCB$ で、四角形ABCDが長方形であれば、

$$AB = ( \quad \textcircled{1} \quad )$$

$$\angle ABC = ( \quad \textcircled{2} \quad ) = 90^\circ$$

共通な辺だから  $BC = ( \quad \textcircled{3} \quad )$

よって、(  $\quad \quad \quad \textcircled{4} \quad \quad \quad$  ) ので、

$$\triangle ABC \equiv \triangle DCB$$

だから、

$$AC = BD$$

となる。

- (1) 上の①から③には記号を、④には合同条件を書きなさい。

紳太郎さんは、卓也さんが証明した「四角形ABCDが長方形ならばAC=BDである」ことの逆を証明しようとしていました。

(2) 上の          のことがらの逆を答えなさい。

(3) (2)で答えた逆のことがらが、正しいか正しいとはいえないかを答えなさい。また、正しいとはいえない場合は、その例を1つ答えなさい。

# 中学校数学

## 第2学年

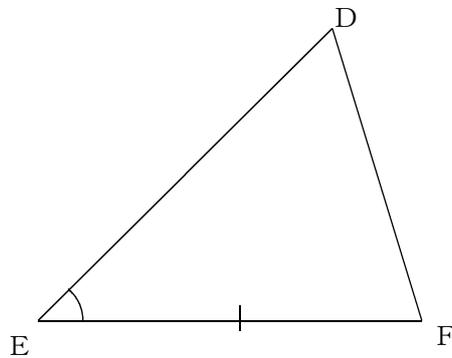
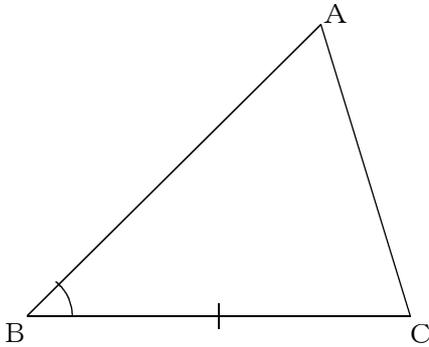
### 5 図形の性質と証明

#### [解答例]

中学校

年 組 号 氏名

## ■ 練習問題①



$BC=EF$ ,  $\angle ABC=\angle DEF$ であることは分かっているので、あと1つ分かれば合同がいえる。

$AB=DE$ ならば、2辺とその間の角がそれぞれ等しいから合同がいえる。

$\angle C=\angle F$ ならば、1辺とその両端の角がそれぞれ等しいから合同がいえる。

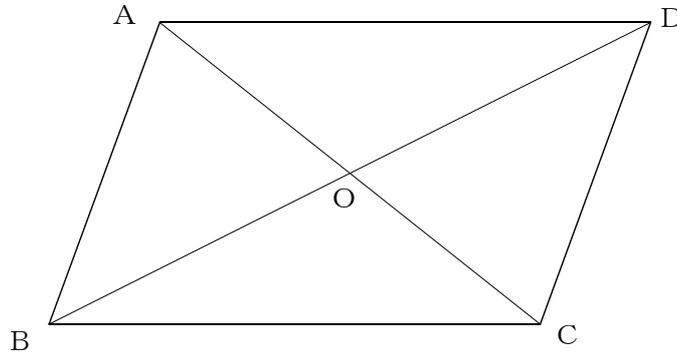
答え  $AB=DE$

または

$\angle C=\angle F$  ( $\angle ACB=\angle DFE$ )

■練習問題②

(1)



平行四辺形になるための条件は次の5つ。(矢印の右側は、記号で表したもの)

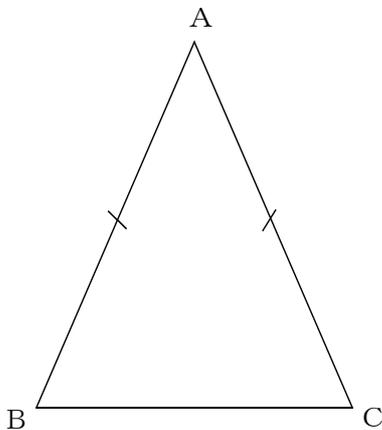
- ① 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行 (定義)。 → 「 $AB \parallel DC, AD \parallel BC$ 」
- ② 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい。 → 「 $AB=DC, AD=BC$ 」
- ③ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい。 → 「 $\angle BAD = \angle DCB,$   
 $\angle ABC = \angle CDA$ 」
- ④ 対角線がそれぞれの中点で交わる。 → 「 $AO=CO, BO=DO$ 」
- ⑤ 1組の向かい合う辺が等しくて平行。 → 「 $AB=DC, AB \parallel DC$ 」または、  
「 $AD=BC, AD \parallel BC$ 」

答え

- $AB=DC, AD=BC$
- $\angle BAD = \angle DCB, \angle ABC = \angle CDA$
- $AO=CO, BO=DO$
- $AB=DC, AB \parallel DC$

または、  
 $AD=BC, AD \parallel BC$

(2)



二等辺三角形だから、底角は等しい。  
よって、

$$\angle B = \angle C$$

これに、 $\angle A$ が等しいことがいえれば、 $\triangle ABC$ は、  
正三角形になる。

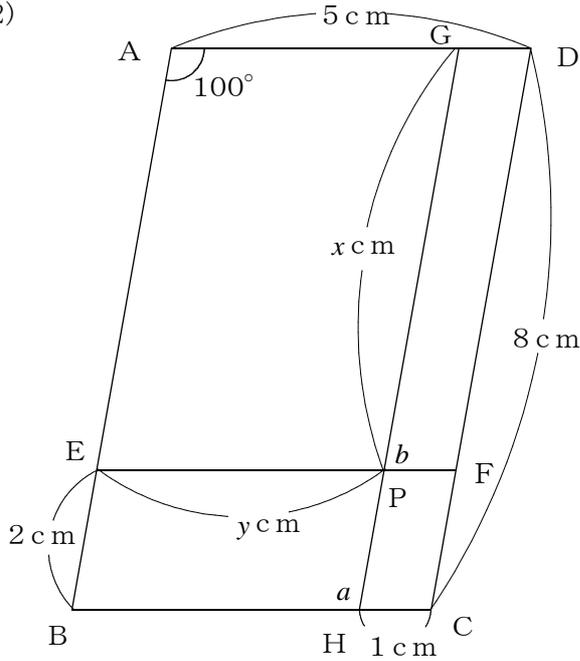
答え  $\angle A = \angle B$   
または、  
 $\angle A = \angle C$

■練習問題③

(1)  $\angle x = (180^\circ - 46^\circ) \div 2$   
 $= 67^\circ$

答え  $\angle x = 67^\circ$

(2)



□ABCDで、与えられた条件から、中に  
 できる四角形はすべて平行四辺形である。

よって、平行四辺形の性質から、

$$x = 8 - 2 = 6$$

$$y = 5 - 1 = 4$$

となる。また、

$$\angle a = \angle A = 100^\circ$$

$$\angle b = 180^\circ - \angle GPE$$

$$= 180^\circ - \angle A$$

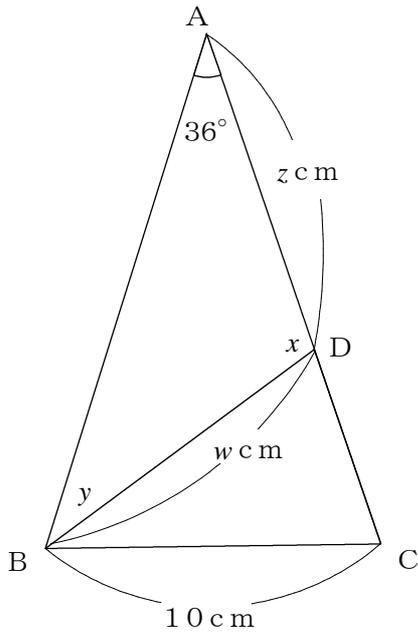
$$= 180^\circ - 100^\circ$$

$$= 80^\circ$$

答え  $x = 6\text{cm}$  ,  $y = 4\text{cm}$

$\angle a = 100^\circ$  ,  $\angle b = 80^\circ$

(3)



$\triangle ABC$  は二等辺三角形だから、

$$\begin{aligned} \angle B &= \angle C \\ &= (180^\circ - 36^\circ) \div 2 \\ &= 72^\circ \end{aligned}$$

また、 $\angle DBC$  は  $\angle B$  の半分だから、

$$\begin{aligned} \angle y &= \angle DBC \\ &= 72^\circ \div 2 \\ &= 36^\circ \\ \angle y &= 36^\circ \end{aligned}$$

一方、

$$\begin{aligned} \angle CDB &= 180^\circ - \angle C - \angle DBC \\ &= 180^\circ - 72^\circ - 36^\circ \\ &= 72^\circ \end{aligned}$$

よって、 $\triangle BDC$  も底角が  $72^\circ$  の二等辺三角形になる。

したがって、

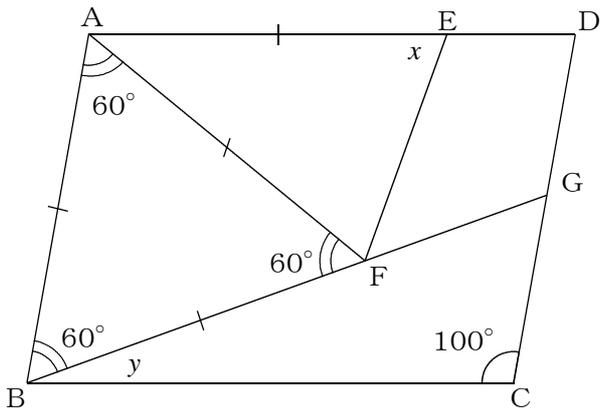
$$\begin{aligned} BC &= BD \\ &= 10\text{cm} \end{aligned}$$

また、 $\triangle ABD$  も二等辺三角形になる。このことから、角度や辺の長さが求められる。

$$\begin{aligned} AD &= BD \\ \angle x &= 180^\circ - 36^\circ \times 2 \\ &= 108^\circ \end{aligned}$$

答え  $\angle x = 108^\circ$  ,  $\angle y = 36^\circ$   
 $w = z = 10\text{cm}$

(4)



四角形ABCDは平行四辺形より、2組の向かいあう角はそれぞれ等しいから、

$$\angle BAE = \angle C = 100^\circ$$

$\triangle ABF$ は正三角形だから、

$$\begin{aligned} \angle EAF &= \angle BAE - 60^\circ \\ &= 100^\circ - 60^\circ \\ &= 40^\circ \end{aligned}$$

よって、

$$\begin{aligned} \angle x &= (180^\circ - 40^\circ) \div 2 \\ &= 70^\circ \end{aligned}$$

また、

$$\angle BAD = \angle C = 100^\circ, \angle ABC = \angle D,$$

四角形の内角の和は $360^\circ$ だから、

$$\angle BAE + \angle ABC + \angle C + \angle D = 360^\circ$$

$$2 \times \angle ABC + 100^\circ + 100^\circ = 360^\circ$$

よって、

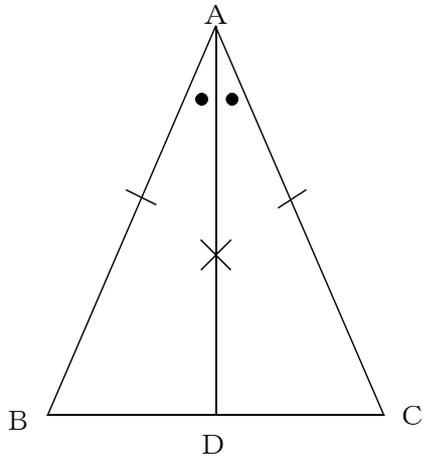
$$\angle ABC = 80^\circ$$

これから、

$$\begin{aligned} \angle y &= 80^\circ - \angle ABF \\ &= 80^\circ - 60^\circ \\ &= 20^\circ \end{aligned}$$

答え  $\angle x = 70^\circ, \angle y = 20^\circ$

## ■ 練習問題④



$AB=AC$ の二等辺三角形の、頂角の二等分線をひき、辺 $BC$ との交点を $D$ とする。

$\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ で、

$\triangle ABC$ は二等辺三角形だから、

$$AB = AC \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$AD$ は $\angle A$ の二等分線だから、

$$\angle BAD = \angle CAD \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

共通な辺だから、

$$AD = AD \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

①, ②, ③より、

(2辺とその間の角がそれぞれ等しい) ので、

$$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$$

よって、[合同な図形では対応する角の大きさは等しい] から、

$$\angle B = \angle C$$

(1) 上の証明を参考にするとよい。

答え 2辺とその間の角がそれぞれ等しい

(2) 上の証明を参考にするとよい。

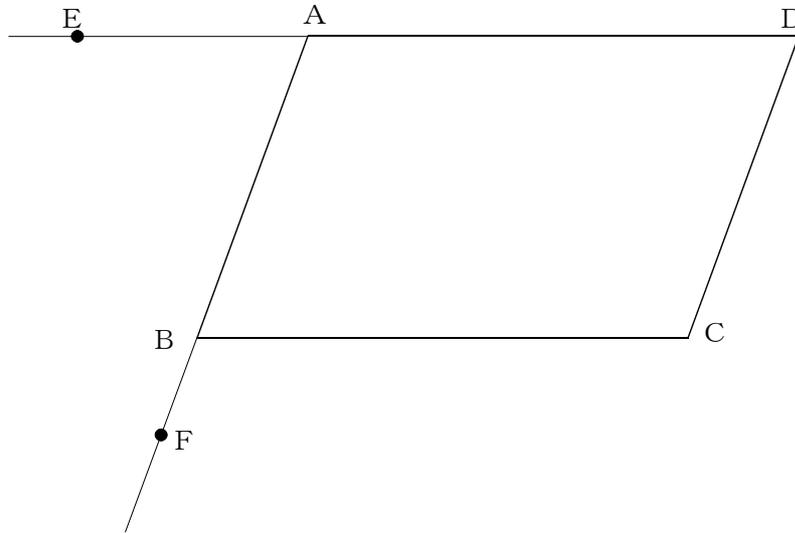
答え 合同な図形では対応する角の大きさは等しい

(3) 頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。

答え ア

## ■ 練習問題⑤

証明は次の通り。



上の図の□ABCDで、辺DAの延長上に点Eをとり、辺ABの延長上に点Fをとる。  
□ABCDだから、 $AD \parallel BC$ 。よって、

$$\angle DAB = (\angle CBF) \quad \dots\dots ①$$

また、 $AB \parallel DC$ より、

$$(\angle CBF) = \angle C \quad \dots\dots ②$$

①、②より、

$$\angle DAB = \angle C \quad \dots\dots ③$$

同様に、 $AD \parallel BC$ より、

$$\angle ABC = (\angle EAB) \quad \dots\dots ④$$

また、 $AB \parallel DC$ より、

$$(\angle EAB) = \angle D \quad \dots\dots ⑤$$

④、⑤より、

$$\angle ABC = \angle D \quad \dots\dots ⑥$$

よって③、⑥より、平行四辺形の向かい合う角は等しい。

(1) 上の証明を参考に考えるとよい。

答え   ア…… $\angle CBF$  (または,  $\angle FBC$ )  
          イ…… $\angle EAB$  (または,  $\angle BAE$ )

(2) 答えは次のとおり。

答え   ①……イ, ②……ウ  
          ④……ウ, ⑤……イ

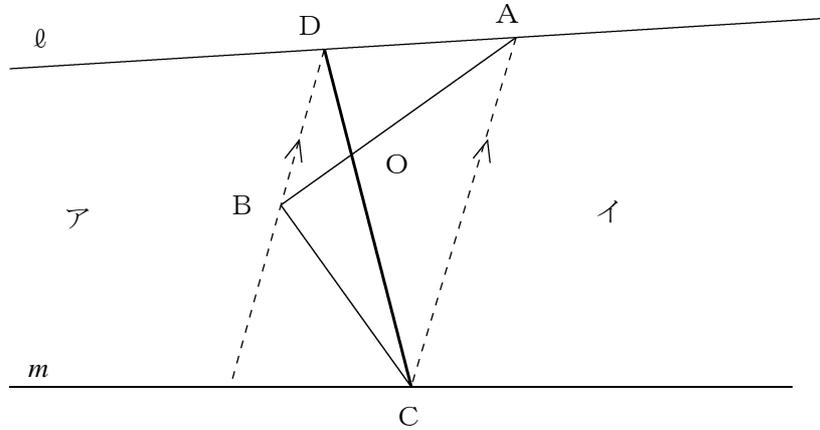
(3) 平行四辺形の性質は, イだけである。

答え   イ

■練習問題⑥

解答は下のとおり。

(1)



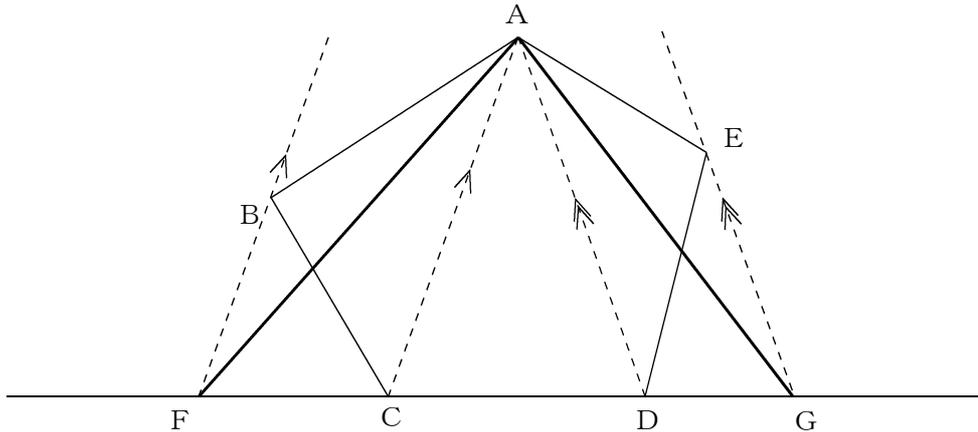
- ①線分ACをひく。
- ②線分ACと平行で、点Bを通る直線をひく。
- ③直線 $l$ と②の直線の交点をDとすると、 $\triangle ABC$ と $\triangle ADC$ は底辺が共通で、高さが等しいので、 $\triangle ABC$ と $\triangle ADC$ の面積は等しい。
- ④境界線をABからCDとすると、 $\triangle BOC$ がアの土地になるが、その代わり $\triangle DOA$ が新たにイの土地になる。よって、

$$\begin{aligned} &\triangle ABC = \triangle ADC \text{より、両辺から}\triangle AOC \text{の面積をひくと、} \\ &\triangle ABC - \triangle AOC = \triangle ADC - \triangle AOC \\ &\triangle BOC = \triangle DOA \end{aligned}$$

となり、ア、イの面積は変わらない。

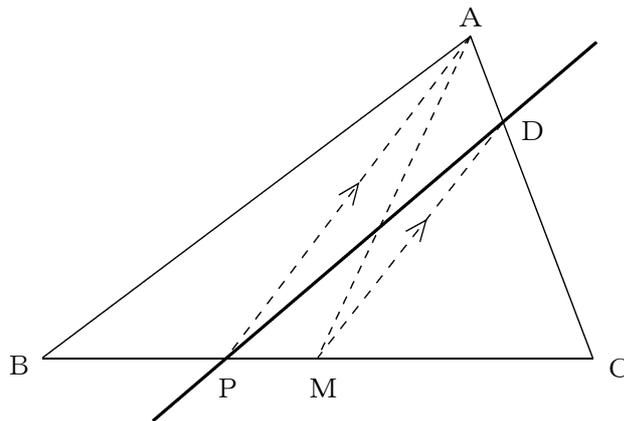
- ⑤よって、線分CDが新しい境界になる。

(2)



- ①線分ACをひく。
- ②線分ACに平行で、点Bを通る直線をひき、直線CDとの交点を点Fとする。  
 $\triangle ABC$ と $\triangle AFC$ は、底辺（AC）が共通で、高さが等しいので、面積が等しい。  
 $\triangle ABC = \triangle AFC$
- ③線分ADをひく。
- ④線分ADに平行で、点Eを通る直線をひき、直線CDとの交点を点Gとする。  
 $\triangle AED$ と $\triangle AGD$ は、底辺（AD）が共通で、高さが等しいので、面積が等しい。  
 $\triangle AED = \triangle AGD$
- ⑤五角形ABCDE =  $\triangle ABC + \triangle ACD + \triangle AED$   
 $= \triangle AFC + \triangle ACD + \triangle AGD$   
 $= \triangle AFG$

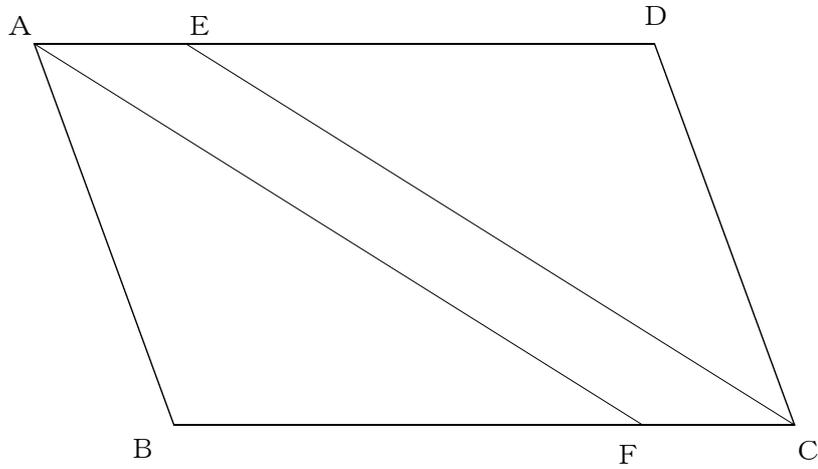
(3)



- ①線分AM, APをひく。
- ②線分APと平行で点Mを通る直線をかき、ACとの交点をDとする。  
AMは $\triangle ABC$ の面積の二等分線である。また、 $\triangle APM$ と $\triangle APD$ は、底辺（AP）が共通で、高さも等しいので面積は等しい。よって、 $\triangle APM = \triangle APD$ 。
- ③よって、点Pと点Dを結ぶ直線が $\triangle ABC$ を点Pを分けて2等分する直線である。

## ■練習問題⑦

解答は下の通り。



証明

四角形AFCEで、  
四角形ABCDが平行四辺形であることより、向かい合う辺はそれぞれ平行なので、

$$( \quad \mathbf{AE \parallel CF} \quad ) \cdots \cdots \textcircled{1}$$

仮定から、

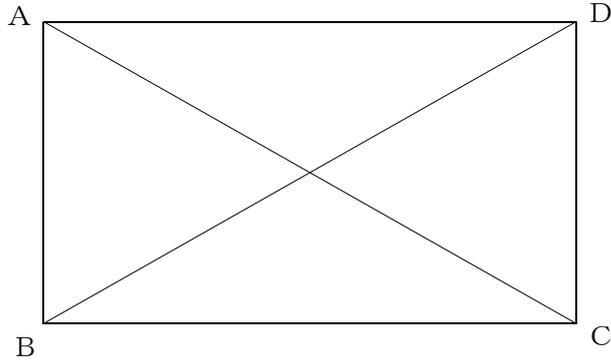
$$( \quad \mathbf{AE = CF} \quad ) \cdots \cdots \textcircled{2}$$

①, ②から、

(1組の向かい合う辺が等しくて平行) から  
四角形AFCEは平行四辺形になる。

答え    **ア**…… $AE \parallel CF$     **イ**…… $AE = CF$   
          **ウ**……1組の向かい合う辺が等しくて平行

■練習問題⑧



【証明】

$\triangle ABC$ と $\triangle DCB$ で、四角形 $ABCD$ が長方形であれば、

$$AB = ( \quad DC \quad )$$

$$\angle ABC = ( \quad \angle DCB \quad ) = 90^\circ$$

共通な辺だから  $BC = ( \quad CB \quad )$

よって、( 2辺とその間の角がそれぞれ等しい ) ので、

$$\triangle ABC \equiv \triangle DCB$$

だから、

$$AC = BD$$

となる。

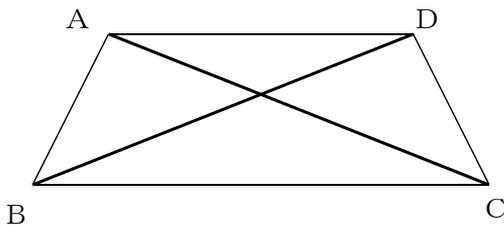
(1) 上の証明を参考にするとよい。

答え ①…… $DC$  ②…… $CB$  ③…… $\angle DCB$   
④……2辺とその間の角がそれぞれ等しい

(2) 仮定と結論を入れかえるとよい。

答え  $AC = BD$ ならば四角形 $ABCD$ は長方形である

(3) 四角形 $ABCD$ で $AC = BD$ であったとしても、次のような台形が考えられる。



答え 正しくない。